

第1回 加茂小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成23年7月26日（火）

午後7時～9時20分

場 所：加茂ふれあい会館

参加人数：18名



1 懇談会の趣旨説明・地域概要書の説明（本荘部長）

本荘部長より、現在策定中の第5次総合計画や、市の地域分権に関する施策についての説明を交えながら、懇談会の趣旨説明があった。

次に、地域概要書を用いて地域の特徴を確認した。

2 ワーク

《A班》土肥さん、森田さん、永田さん、森さん、藤田さん、上浦さん

【地域における生活上の課題】

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 留守にしている事が多く、地域の事、様子が分からない。興味がない。 引っ越し時、公共施設の位置が分からなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事の参加 会ったときに、地域の大切な事柄を伝えてあげる。 	地域コミュニティ
<ul style="list-style-type: none"> 自治会長が輪番制で、仕事が忙しく、会議に代理を立てることが多いので困っている。 		
<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の顔が分からない、知らない。こっちのことも知ってもらえない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体の懇親会を増やす。 	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> 障がい児の娘も高齢になり不安。 障がい児をかかえ、川西市には認可の通園施設がなく、他市を利用することが多い。 		福祉
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを安心して遊ばせられる公園がない。広場がない。 子どもの勉強。 子どもの通学の安全性。 		子どもの育成、子育て

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くのスーパーがなくなったので、不便。 ・ 坂が多く、病院に行きにくい。 ・ 駅が遠く出かけにくい。 ・ 外食をする場所が少ない。 ・ 高齢になったとき、家の近くでサークル活動をする場所がない。 ・ 自家用車がないと、買い物、病院、公共施設に行くのが不便。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の方、知っている方がいれば乗せていってもらおう。 ・ 福祉施設のバスを利用して、コミュニティバスをつくる。 ・ コミュニティバス、TAXI等を立ち上げる。 	利便性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てをしながら、おばあちゃんの介護をするのが大変。 ・ 夫婦の介護。妻の病気。 ・ 義母の介護。 ・ 現在親は元気だが、要介護になったとき不安。 ・ 高齢者だけの暮らし。 ・ 妻の交通事故(自転車)。 ・ 健康不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所のつきあいを増やす。 ・ グループホームを増やす。 ・ 自治会の組単位で、助け合う体制。 ・ 近所で安否確認できる体制作り。 ・ 子どもと一緒に。高齢者にも自転車の講習会を開く。 ・ 話し相手をする。 	高齢者のお世話や介護
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くに河川があり、増水のたびに不安になる。 		安全



《B班》安藤さん、八木さん、多田さん、葛野さん、乗井さん、吉岡さん

【地域における生活上の課題】

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が細く、整備状況が悪い。 ・ デイサービスの車が入りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手伝ってあげる。 	道路が狭い
<ul style="list-style-type: none"> ・ 親の世話。 ・ 頼りにされすぎて、しんどい。 ・ お年寄りのお世話や食事など。 ・ 子育て、親の介護、学校の役員が大変でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひろばサロン。 ・ 老人会(茶話会、集まって活動)。 	高齢者の世話や介護

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 地域に段差があり、年寄りには移動が大変。 体力がなくなったときの、心の準備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力作り。 見守り。 	高齢者の移動
<ul style="list-style-type: none"> 買い物に行くのも少し遠くて困った。 お店が遠い。 	<ul style="list-style-type: none"> 手助け。ついでに買ってきてあげる。 何人かで一緒に車で買い物に連れて行く。 	高齢者の買い物
<ul style="list-style-type: none"> 犬の糞の始末が悪い。 他市からのゴミ。 カラスの悪戯。 近所の風鈴がうるさい。 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発活動。 	マナーが悪い
<ul style="list-style-type: none"> 参加する人が決まっている。 安い老人ホームがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 声を掛けてあげる。 役所に老人集合住宅を作ってもらおう。 近所に住む。 	地域活動の悩み 高齢者の住まい
<ul style="list-style-type: none"> 近所を知らない。 話し相手がいない。 子ども、中年、年寄りの相手が必要(交流)。 	<ul style="list-style-type: none"> ひろばサロンに参加して、お友達をつくる。 	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> 子どもと過ごす時間がない。 		



《C班》 尾野上さん、小澤さん、後北さん、白崎さん、岡林さん、今井さん

【地域における生活上の課題】

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 仕事とボランティア活動をしていく家庭的な時間がなかったように思う。 毎日が忙しくて、ゆっくりする時間がない。 個人の負担の増大。 次のリーダーがいない。 		担い手

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊ぶ場所がない。 公園など地域に遊ぶ場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川や最明寺川を遊ぶ場所 にできる。 休耕地の提供。 	遊び場所 子どもの育成、 子育て
<ul style="list-style-type: none"> 地域内での交流が少ない。 地域における異端者の存在。 高齢化が進み、自治活動に積極的な 参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 高齢者や子ども、若い親など 50 ~60 人を引き込むイベント。 南花屋敷など、農業をやっている ところはつながりが強い。 	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> 買い物に行けない。 配偶者の健康。 妻(配偶者)の介護ができるか不安。 自分のことが自分でできるか不安。 妻が母親の介護に疲れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物の代行はしてあげられ る。 近所同士で声かけの復活。 	高齢者のお世話 や介護
<ul style="list-style-type: none"> 車を運転しない不便さ。不自由な人 に対する助けができない。 安全のため、運転免許を返納した。 通院に困る。 	<ul style="list-style-type: none"> 週に 2、3 日ボランティアで送 り迎え。 カーヘルボランティアに参加 して支援する。 	交通



3 発表

A 班

- 地域のことがよく分からないので困っているという人には、地域の行事へ参加することで知ってもらったり、どこかで出会ったときにこちらから教えてあげるといったアイデアが出た。ほかにも様々な課題が挙げられたが、地域の方で顔を知らない方がいるという課題に対しては、懇親会を増やしてコミュニケーションを充実させていこうというアイデアが出た。ほかにも、買い物や通院のために近隣の高齢者を乗せていってあげたり、コミバスを走らせるというアイデアや、家族の介護を近所で助け合うアイデアが出た。



コミバスを走らせるというアイデア

B 班

- 地域の課題を話し合った。自分の生活のことは普段あまり意識しないので、戸惑いもあった。道路が狭い、高齢者の世話や介護、高齢者の移動、高齢者の買い物、マナーが悪い、地域活動に参加する人が決まっているという悩み、高齢者の暮らし方、コミュニケーションなど、幅広いことについて話し合っ、解決策を考えた。次回は、個人の暮らしのことだけでなく地域のこともについても話し合っていきたい。



C 班

- 課題について、担い手の問題では個人の負担が大きく、ゆっくりする時間がないという話が出た。ほかにも、子どもの遊び場所や、地域内のコミュニケーション、自らの高齢化により今後の生活に不安があること、車を運転できないことによる生活の不便さが挙げられた。コミュニケーション対策には、挨拶をすることや、また車を運転できず不便な状況にいる人に対してはボランティアで送り迎えをしてあげるといったアイデアが出た。



4 おわりに

- 第2回は8月10日19時～、第3回は30日19時～に決定された。